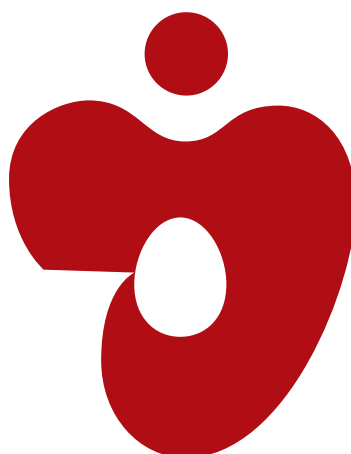


# 九州看護福祉大学紀要

The Journal of Kyushu University of Nursing and Social Welfare

Vol. 18 No. 1

平成29年度



九州看護福祉大学

Kyushu University of Nursing and Social Welfare

# 目 次

## 1. 原著論文

オルコット教育思想へのアダム・スミスの影響 — 「道徳感情」論の受容と展開 — 山本 孝司 .....	3
日本と中国の伝統的文学観に関する考察 — 万葉集の「防人歌」 詩経の「戦争詩」 全唐詩の「辺塞詩」の忠君愛国歌の比較を通して — 高 継芬 .....	15
看護学実習における生命倫理教育内容の教材化 — 実習指導経験からの内容分析 — 柴田 恵子、川本 起久子 .....	29
病棟看護師の関係維持と構築に関する研究 — 社会的スキルを用いた分析 — 古江 佳織、柴田 恵子 .....	41
地域在宅高齢者のソーシャル・キャピタルとソーシャルサポートとの関連 坂口 里美、福本 久美子、中川 武子、増田 容子 .....	51
<h2>2. 研究報告</h2>	
遺族年金における遺族概念の社会的変容 — 生計維持要件を中心に — 河谷 はるみ .....	63
九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究科 修士論文一覧 .....	71
『九州看護福祉大学紀要』投稿内規および執筆要領 .....	72
編集後記 .....	74

## 編集後記

九州看護福祉大学紀要第18巻の発刊にあたり、編集にご協力いただきました委員はじめ関係各位にまずは心からお礼申し上げます。

さて、昨年(2020年)の日本経済新聞(電子版)に次のような記事がありました。『当たり前と考えていた常識が崩れ去る。速まる一方の技術の進歩やグローバル化の奔流が、過去の経験則を猛スピードで書き換えているからだ。昨日までの延長線上にない「断絶(Disruption)」の時代が私たちに迫っている』医療、保健、福祉分野も例外ではありません。今、働いている職場、職域が10年後も同様に「当たり前」のように存在している保証はどこにもありません。正に今を生きる私達は、「当たり前」が通用しない時代の入り口に立っているとと言えます。社会からのニーズも大きく変化しており、これから先は、誰もが経験したことのないスピードで、日々の仕事のあり方も変わっていく時代、今日の延長線上に明日はない。正にDisruption(断絶)の時代です。いつまでも、今の仕事「当たり前」にあると思っている人、組織は10年後、生き残ってはいないかもしれません。常に新しい知識と技術を吸収し、個々人が変革していくことが求められていると思います。

今回は6編の投稿を頂きました。常に新しい情報を発信し続ける力強い大学であるためにも今後とも教育、研究活動に邁進していく必要性を強く感じております。本年度から紀要編集委員長の任を賜りました。微力ながら誠意努力して参りたいと存じます。何卒宜しくお願ひ申し上げます。

平成30年2月5日

平成29年度紀要編集委員会	委員長	加藤 浩 (リハビリテーション学科)
	委員	掃本 誠治 (看護学科)
	委員	上妻 尚子 (看護学科)
	委員	李 玄玉 (社会福祉学科)
	委員	山本 孝司 (社会福祉学科)
	委員	肥後 成美 (リハビリテーション学科)
	委員	内田 匠治 (鍼灸スポーツ学科)
	委員	松尾 文 (口腔保健学科)

---

九州看護福祉大学紀要 第18巻 第1号

The Journal of Kyushu University of Nursing and Social Welfare Vol.18 No.1

発行者 九州看護福祉大学

Kyushu University of Nursing and Social Welfare

〒865-0062

熊本県玉名市富尾888番地

888 Tomino, Tamana-shi,

Kumamoto 865-0062, Japan.

TEL 0968(75)1800

FAX 0968(75)1811

紀要編集委員長 加藤 浩

印刷所 株式会社 ベスト

〒861-5403

熊本県玉名市天水町部田見1895

TEL 0968(71)5911

FAX 0968(71)5512

---